



PF 家庭犬マナーテスト ～人との関わり方編～ ルールブック

(受験者用)

2023年12月5日 改

受験資格

- 畜犬登録がされている(飼主が鑑札を持っている/犬が装着している)
- 必要なワクチンが済んでいる
 - 年に1回以上狂犬病ワクチン・混合ワクチンを接種
- 適切なグルーミングがされている
- 健康な犬である/治療内容や病状を飼主がきちんと把握している
- 受験時に犬が12ヶ月齢以上である(12ヶ月齢未満の合格であれば仮認定とする)
- (雌犬のみ)ヒート期間ではない

失格項目

- 試験項目で「×」がついた場合
- 試験中 人に対しての噛みつき行為が見られた場合(空噛みも含む)
- 他の人を見て3回以上の連続的な吠え/唸り等が見られた場合
- 他の犬を見て3回以上の連続的な吠え/唸り等が見られた場合
- 吠えが10回以上見られた場合
- 試験中に排泄が見られた場合
- 試験中に3回以上の飛びつき(人/モノも含む)が見られた場合
 - ※ 飛びつき…両前肢が浮いた状態でどちらかの肢が対象に触れた場合
- (雌犬のみ)ヒートの把握がされていない場合
- オフリード(手からリードが離れること)が確認された場合
- テスト会場から見える範囲で
 - 犬に矯正・罰・乱暴なトレーニングが施されている場合
- 装着されている犬具が締めきり状態だった場合
- ジャッジが犬のコントロールが不能になっていると判断した場合
 - 又は試験続行不可能と判断された場合
- 本試験の指定時間内に遅刻・無断欠席した場合

注意事項

- 試験中のトリーツ/おもちゃ(周囲の状況を見て使用)の使用は可とする
 - ただし、指定された項目に関しては使用を制限する場合がある
 - 詳細は各項目を参照
- 試験は1頭ずつ行う

審査基準

- ✓ 試験時テスト項目が「×」と判断された場合、失格となる
- ✓ 85/100 で合格とする（○…15 個・△…5 個）
- ✓ コマンドは各項目 3 回までとする、それ以上は「×」採点となる
 - 「座れ」「伏せ」「待て」はそれぞれ別コマンドとしてカウントする。
 - 声符(声の合図)と視符(手等の合図)はそれぞれカウントする。
同時に出した場合は 1 回とみなす。
 - 視符の継続は可とする。
 - 視符のみのやり直しも 2 カウント目をとることとする。
- ✓ ○…5 点 △…2 点 ×…0 点(失格)
- ✓ 基本的に飼い主の姿勢は問わない(座れ・伏せの項目は除く)
- ✓ 犬具は予め締まらないようにしておく

他

- ✓ 試験時間…1 組 30 分程度を想定・解説含
- ✓ 犬の馴致や休憩等も含め 1 組辺り 1 時間の時間を取る
- ※ 当日のスケジュールを参照

試験料金

- ✓ ¥1,000(総額 ¥1,100)

1. (他人との関わり) 他人との会話中での犬の様子(口頭質問・事前申告・くじ引き)

[審査]: ジャッジと約 1.5m 離れ、口頭での質問に答える。また、お散歩(すれ違い)項目とお手入れ項目のくじを引く。



2. (他人との関わり) 他人が犬を触る

[審査]: ジャッジが犬に近づき、犬へ触れる。飼主は触らせる上での注意点があれば指示できる。



3. (他人との関わり) 他人からの健康チェック

[審査]: 他人が犬の目・耳・口・背中(毛並み)・足先・肛門周りのチェックをおこなう。



4. (散歩) 飼い主の横を引っ張らずに歩く

[審査]：約 3m 幅のラインを犬と一緒に往復する。

[備考]：人の左右どちらを歩いても構わないが、どちらか決めておく。



5. (散歩) 他人の近くを歩く

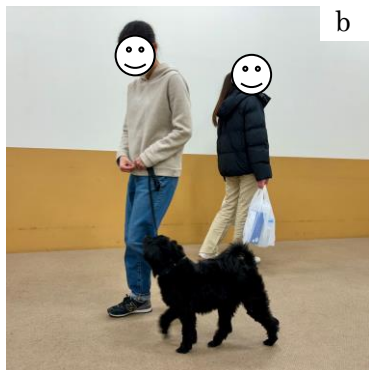
① 追い越される(往復)

[審査]：小走りで走ってくる人に後ろから追い越される



② 様々な人とすれ違う(片道)

[審査]：[a カートを押す人・b 大きめのビニール袋を両手に持った人・c 犬とは逆側の手で閉じた傘を持ち、音を立てながら歩く人・d キャップを被った小走りの人・e 電話をしている人・f 立ち止まって犬とは逆側の手に持ったビニール袋をあさる人・g 歩き出して「あ！」という声を出して手を振る人]の中から 3 項目を試験開始時のくじで選択。





6. (カフェ) テーブルマナー

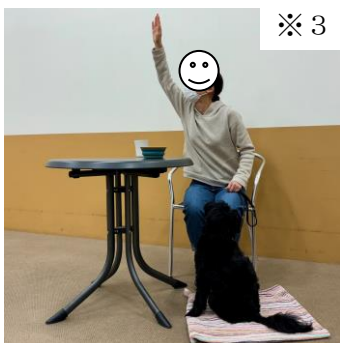
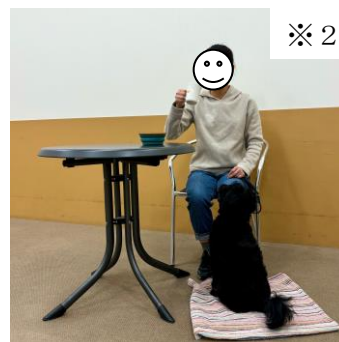
[審査]：犬の居場所を選択…床、カート、イス（マット必須）、膝の上
イスに計約2分間座る。

店員役のアシスタント(以下:店員)が空のコップと空のフードボウルを配膳(※1)し、受験者30秒以内に水を飲むふり。(※2)

受験者は手を挙げ店員を呼び注文(※3)をする。30秒後、店員は犬のおやつが入ったフードボウルを配膳(※4)する。

その後1分間、店員はお盆を持ち別テーブルに配膳する振りや声を出す、しゃがむなど(※5)する。その間に受験者にはもう一度水を飲むふりをし、犬におやつをあげる。

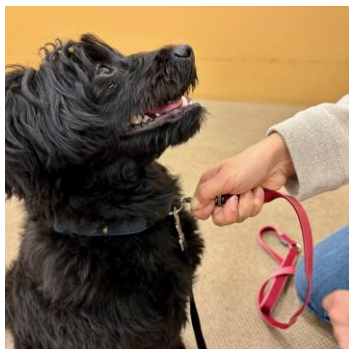
[備考]：テーブルに脚をかけない。



7. (基本的な合図) おいで

[審査]: 3m 程度離れた場所から呼び戻しをおこなう。その間、他人がロングリードを持つ。
他人からロングリードを受け取り付替え→離れる(自分のリードと一緒に持っていく)
→呼び戻し→自分のリードへ付替え

[備考]: 飼主は立った姿勢で行う。ノーリードにしない。

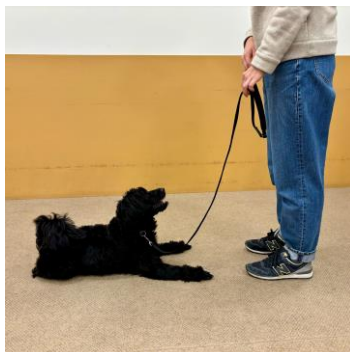


8. (基本的な合図) オスワリ・マテ/フセ・マテ

[審査]: 飼主の前で犬に合図を出し、約 10 秒間維持。約 5 秒後に他人が 1m 程度後ろを歩く。

[備考]: 飼主は立った姿勢で行う。

コング等の使用やトリーツを絶え間なく与え続けるの姿勢の維持は不可。



9. (飼主と離れる) 係留(他人にリードを預ける)待機

[審査]: 他人が飼主からリードを預かり、1 分間程度、飼主は姿を隠す。

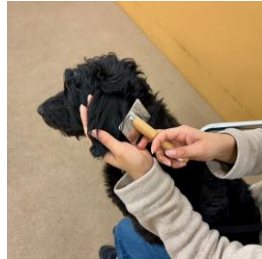
[備考]: 預ける際の注意事項を指示して良い。



10. (お手入れ) 日常のお手入れを受け入れる

[審査]: [ブラシ・足拭き・顔周りを拭く・耳掃除・歯磨き(シート)(片側全面)・犬具の着脱]の中から2項目を試験開始時のくじで選択。飼主が犬にお手入れをする。

[備考]: 抱っこや床など場所は問わない。



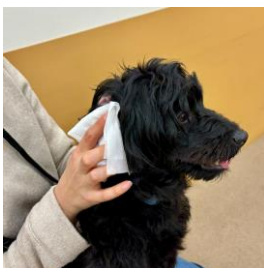
- 足拭き…四足全てをウエットティッシュで拭くことができる



- 顔周り…目の周り/口の周りをウエットティッシュで拭くことができる



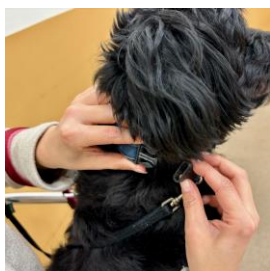
- 耳掃除…両耳をウエットティッシュで拭くことができる



- 歯磨き…歯磨きシートを使って片面全て行える



- ▶ 犬具着脱…用意したリードに繋げた上で自前のカラーの着脱を行うことができる。
他人が輪にしたリードを犬の首にかけた状態でおこなう。



11. (飼主と離れる) クレート待機(3分間)

[審査]：犬をクレートに合図で入れ、飼主は会場から約3分間離れる。

[備考]：クレートのカバー利用・コング等のおもちゃ使用は可

- クレートに入れる/出す際に噛み等がない
- クレート出入りの際にオフリード状態にしない(クレート内で外すのは可)
- 鼻鳴き/クレートを掘る等があった場合は減点とする



